

経営比較分析表（平成30年度決算）

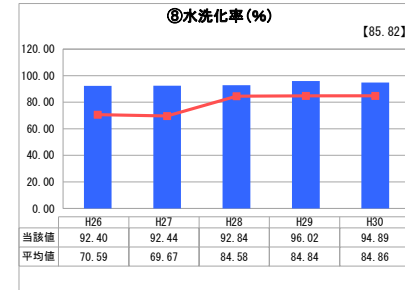
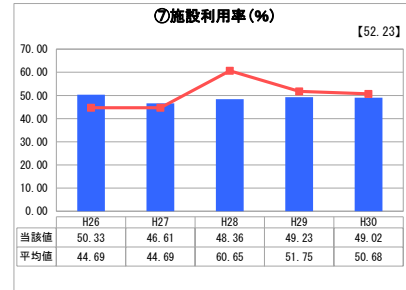
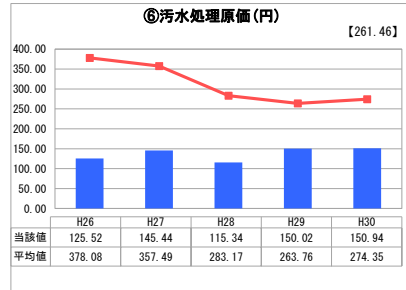
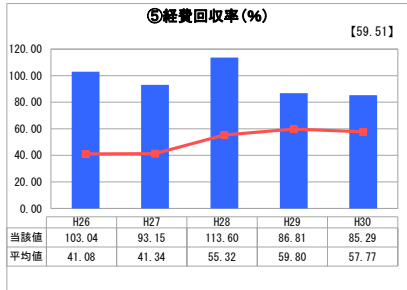
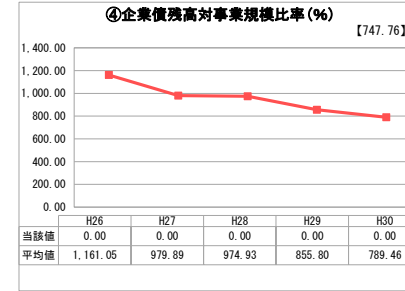
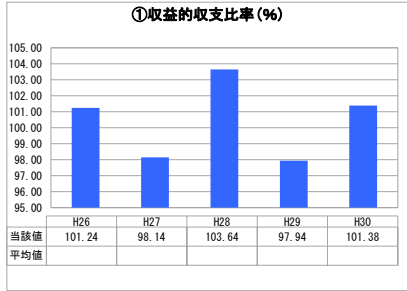
高知県 中土佐町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	12.91	98.35	2,370

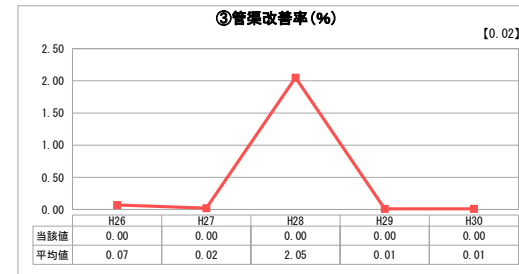
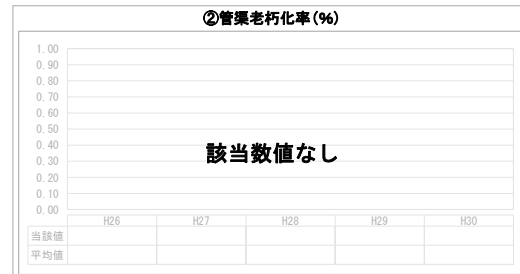
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,868	193.21	35.55
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
881	0.49	1,797.96

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①人口減少等により収益は減っているものの、地方債完済により元利償還金が減少したため数値が改善された。
 ④施設新設当初の推移であり、近年は投資規模も小さく減少傾向にある。
 ⑤省エネ技術導入事業を実施することにより汚水処理費を削減できており、類似団体より高い経費回収率を保持している。
 ⑥類似団体と比較して原価を抑える事が出来ている。
 ⑦人口減少による加入世帯の人口減少により類似団体と比較しても施設利用率は低い状態となっている。
 ⑧類似団体と比較しても高い水準を保持している。未接続生圏は高齢化や住宅老朽化など社会的な要因があるが今後も随時状況を把握していきたい。

2. 老朽化の状況について

管渠については近年に整備してきたことから、耐用年数も十分であり現時点で問題点は見当たらないと考える。機能診断等で施設の状況を把握し、今後も適切な維持管理を行っていく。

全体総括

人口減少など社会的な要因により流入量の減少傾向が認められる。令和2年度以降、機能診断事業、最適整備構想を策定する予定であり状況に応じた事業を実施し汚水処理費の削減に努めていきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。